

たつおか

號

麥栽培管理について

竜丘地区農業改良事務所

竜丘村農事研究会

麥施肥基準設定について

竜丘地区農業改良事務所

竜丘村農事研究会

肥料の自由販賣となつて大いに都合は良くなつたが、最近各種肥料が出た爲に反収別施用量の標準を作りましたので、これを参考にお互いに肥料設計を立て戴きたい。

麥施肥基準例

麥の栽培管理については毎年毎年研究していくのですが、いつまで経つてもそんなのんきな事をして居られませんから、出来る丈生産費を安くして反収量を多くしなければお互いの経済が成立しない。左記の様に重点事項を作りましたこれが爲には栽培管理の合理化が必要だ。左記の様に重点事項を作りましたので之を参考にして肥培管理の合理化を図つて增收に努力下さい。

水田裏作麦耕種改善重点事項

事項	改善の要点	實	施	要	綱
品種	適品種の選択	21、小麦	1、信交五号	1、大麥	1、小麦
肥料	自給肥料の増施基準	2、農林六八号	2、備前早生	2、信交五号	2、小麦
肥料	施肥基準の勧め	3、伊賀筑後オレゴン	3、虎の尾	3、大麥	3、大麥
肥料	施肥の合理化	4、施肥の合理化	5、追肥は年内一回早春より早目に終る	6、酸性肥料の使用	7、性肥料の使用
整地	整地の勧め	8、排水良好地は整地を行ふ	9、排水溝の設置	10、温地田に於ける排水溝の設置	11、温地田に於ける排水溝の設置
排水	適期播種	12、適期播種	13、適期播種	14、右の期間中秋播種のものは早播すること	15、右の期間中秋播種の出来た場合
播種量	適量播種	16、大麥四~五升	17、小麥三~四升	18、大麥四~五升	19、小麥三~四升
播種期	適期播種	20、適期播種の出来た場合	21、適期播種の出来た場合	22、適期播種の出来た場合	23、適期播種の出来た場合
播種期	適期播種	24、大麥四~五升	25、小麥三~四升	26、大麥四~五升	27、小麥三~四升
土入れ	土入れの勧め	28、第一回一二月上旬	29、第二回三月上旬	30、第一回一二月上旬	31、第二回三月上旬
踏圧	踏圧の勧め	32、第一回一二月下旬	33、第二回二月中旬	34、第一回一二月下旬	35、第二回二月中旬
收穫	適期刈取り	36、第一回一二月下旬	37、第二回二月中旬	38、第一回一二月下旬	39、第二回二月中旬
中耕除草	中耕除草	40、第一回一二月下旬	41、第二回二月中旬	42、第一回一二月下旬	43、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	44、第一回一二月下旬	45、第二回二月中旬	46、第一回一二月下旬	47、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	48、第一回一二月下旬	49、第二回二月中旬	50、第一回一二月下旬	51、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	52、第一回一二月下旬	53、第二回二月中旬	54、第一回一二月下旬	55、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	56、第一回一二月下旬	57、第二回二月中旬	58、第一回一二月下旬	59、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	60、第一回一二月下旬	61、第二回二月中旬	62、第一回一二月下旬	63、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	64、第一回一二月下旬	65、第二回二月中旬	66、第一回一二月下旬	67、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	68、第一回一二月下旬	69、第二回二月中旬	70、第一回一二月下旬	71、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	72、第一回一二月下旬	73、第二回二月中旬	74、第一回一二月下旬	75、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	76、第一回一二月下旬	77、第二回二月中旬	78、第一回一二月下旬	79、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	80、第一回一二月下旬	81、第二回二月中旬	82、第一回一二月下旬	83、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	84、第一回一二月下旬	85、第二回二月中旬	86、第一回一二月下旬	87、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	88、第一回一二月下旬	89、第二回二月中旬	90、第一回一二月下旬	91、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	92、第一回一二月下旬	93、第二回二月中旬	94、第一回一二月下旬	95、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	96、第一回一二月下旬	97、第二回二月中旬	98、第一回一二月下旬	99、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	100、第一回一二月下旬	101、第二回二月中旬	102、第一回一二月下旬	103、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	104、第一回一二月下旬	105、第二回二月中旬	106、第一回一二月下旬	107、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	108、第一回一二月下旬	109、第二回二月中旬	110、第一回一二月下旬	111、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	112、第一回一二月下旬	113、第二回二月中旬	114、第一回一二月下旬	115、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	116、第一回一二月下旬	117、第二回二月中旬	118、第一回一二月下旬	119、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	120、第一回一二月下旬	121、第二回二月中旬	122、第一回一二月下旬	123、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	124、第一回一二月下旬	125、第二回二月中旬	126、第一回一二月下旬	127、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	128、第一回一二月下旬	129、第二回二月中旬	130、第一回一二月下旬	131、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	132、第一回一二月下旬	133、第二回二月中旬	134、第一回一二月下旬	135、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	136、第一回一二月下旬	137、第二回二月中旬	138、第一回一二月下旬	139、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	140、第一回一二月下旬	141、第二回二月中旬	142、第一回一二月下旬	143、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	144、第一回一二月下旬	145、第二回二月中旬	146、第一回一二月下旬	147、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	148、第一回一二月下旬	149、第二回二月中旬	150、第一回一二月下旬	151、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	152、第一回一二月下旬	153、第二回二月中旬	154、第一回一二月下旬	155、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	156、第一回一二月下旬	157、第二回二月中旬	158、第一回一二月下旬	159、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	160、第一回一二月下旬	161、第二回二月中旬	162、第一回一二月下旬	163、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	164、第一回一二月下旬	165、第二回二月中旬	166、第一回一二月下旬	167、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	168、第一回一二月下旬	169、第二回二月中旬	170、第一回一二月下旬	171、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	172、第一回一二月下旬	173、第二回二月中旬	174、第一回一二月下旬	175、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	176、第一回一二月下旬	177、第二回二月中旬	178、第一回一二月下旬	179、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	180、第一回一二月下旬	181、第二回二月中旬	182、第一回一二月下旬	183、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	184、第一回一二月下旬	185、第二回二月中旬	186、第一回一二月下旬	187、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	188、第一回一二月下旬	189、第二回二月中旬	190、第一回一二月下旬	191、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	192、第一回一二月下旬	193、第二回二月中旬	194、第一回一二月下旬	195、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	196、第一回一二月下旬	197、第二回二月中旬	198、第一回一二月下旬	199、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	200、第一回一二月下旬	201、第二回二月中旬	202、第一回一二月下旬	203、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	204、第一回一二月下旬	205、第二回二月中旬	206、第一回一二月下旬	207、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	208、第一回一二月下旬	209、第二回二月中旬	210、第一回一二月下旬	211、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	212、第一回一二月下旬	213、第二回二月中旬	214、第一回一二月下旬	215、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	216、第一回一二月下旬	217、第二回二月中旬	218、第一回一二月下旬	219、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	220、第一回一二月下旬	221、第二回二月中旬	222、第一回一二月下旬	223、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	224、第一回一二月下旬	225、第二回二月中旬	226、第一回一二月下旬	227、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	228、第一回一二月下旬	229、第二回二月中旬	230、第一回一二月下旬	231、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	232、第一回一二月下旬	233、第二回二月中旬	234、第一回一二月下旬	235、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	236、第一回一二月下旬	237、第二回二月中旬	238、第一回一二月下旬	239、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	240、第一回一二月下旬	241、第二回二月中旬	242、第一回一二月下旬	243、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	244、第一回一二月下旬	245、第二回二月中旬	246、第一回一二月下旬	247、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	248、第一回一二月下旬	249、第二回二月中旬	250、第一回一二月下旬	251、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	252、第一回一二月下旬	253、第二回二月中旬	254、第一回一二月下旬	255、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	256、第一回一二月下旬	257、第二回二月中旬	258、第一回一二月下旬	259、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	260、第一回一二月下旬	261、第二回二月中旬	262、第一回一二月下旬	263、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	264、第一回一二月下旬	265、第二回二月中旬	266、第一回一二月下旬	267、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	268、第一回一二月下旬	269、第二回二月中旬	270、第一回一二月下旬	271、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	272、第一回一二月下旬	273、第二回二月中旬	274、第一回一二月下旬	275、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	276、第一回一二月下旬	277、第二回二月中旬	278、第一回一二月下旬	279、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	280、第一回一二月下旬	281、第二回二月中旬	282、第一回一二月下旬	283、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	284、第一回一二月下旬	285、第二回二月中旬	286、第一回一二月下旬	287、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	288、第一回一二月下旬	289、第二回二月中旬	290、第一回一二月下旬	291、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	292、第一回一二月下旬	293、第二回二月中旬	294、第一回一二月下旬	295、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	296、第一回一二月下旬	297、第二回二月中旬	298、第一回一二月下旬	299、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	300、第一回一二月下旬	301、第二回二月中旬	302、第一回一二月下旬	303、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	304、第一回一二月下旬	305、第二回二月中旬	306、第一回一二月下旬	307、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	308、第一回一二月下旬	309、第二回二月中旬	310、第一回一二月下旬	311、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	312、第一回一二月下旬	313、第二回二月中旬	314、第一回一二月下旬	315、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	316、第一回一二月下旬	317、第二回二月中旬	318、第一回一二月下旬	319、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	320、第一回一二月下旬	321、第二回二月中旬	322、第一回一二月下旬	323、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける	324、第一回一二月下旬	325、第二回二月中旬	326、第一回一二月下旬	327、第二回二月中旬
病害	四、耐病性品種の選択	328、第一回一二月下旬	329、第二回二月中旬	330、第一回一二月下旬	331、第二回二月中旬
病害	二、種子消毒	332、第一回一二月下旬	333、第二回二月中旬	334、第一回一二月下旬	335、第二回二月中旬
病害	三、肥料の多用をさける</				

新肥料の特性について

竜丘地区農業改良事務所

特性：硝安の純粹なものは、無色の菱粒状の結晶で吸濕性が極めて強い。硝安は硝酸アンモニア鹽で、硝酸態窒素とアンモニア態窒素を等量に含み中性にして速効性の窒素質肥料である。

硝安

特徴：硝安の純粹なものは、無色の菱粒状の結晶で吸濕性が極めて強い。硝安は硝酸アンモニア鹽で、硝酸態窒素とアンモニア態窒素を等量に含み中性にして速効性の窒素質肥料である。

硝安

日産化学の化性肥料

日産化学の化成肥料には多くの肥料があるが、それ／＼其の製法原料により各成分性質が異なるが次の通りである。

みづほに成りしき化成 こがね化成 つかさ化成 富國化成

みどり化成 わを化成 千代田化成 特号 一號

みづほ化性 八〇% 八〇% 八〇% 七〇% % 五〇% 加害里

富國化成 六〇% 四〇% 一二〇% 八〇% 三〇%

千代田化成 一九五 一九五 一二五 一二〇

特号 一号 二六〇 一六〇 一三〇 六〇 六〇

二六〇 一六〇 一六〇 六〇 六〇

一號 二六〇 一六〇 一六〇 六〇 六〇

普通に黒穂と呼び大麥と裸麥のみに発生する。
病徵……出穗までは健全株と区別出来ないが、病株は稍々早目に出穗し散穂軸のみとなるから裸穂病といふ。病原菌は黒穂から黒粉状の胞子が飛散し健全花に附着し、種子中に入りこれを播くと黒穂となる。

穂軸のみとなるから裸穂病といふ。病原菌は種子中に混入して居るから、直接触れぬ様に注意し、或は水に溶し薄い液肥として用いることが安全である。

元作用を受けて脱穀するから混合はさける事。

4、水田肥料としては不適だが、補肥として幼苗形成期に施すのは良い。

5、硝安は爆発性があるから火氣を近づけたり、取扱いには充分注意する事。

3、硝安は魚肥、大豆粕、綠肥、人糞尿及び未熟な堆肥に混入すると、還ら畑地には理想的な肥料である。

肥料及施用法

尿素は窒素、酸素、水素、炭素からなる有機化合物で形態は、尿素態で淡い桃色をおびた白色の細い針状結晶で臭くなく水に溶け易い。

1、水に溶け易いから水田より畳作（麥）に適し、基肥追肥共に良く、硫安の余分成分が有るから他と併用しなければいけない。

2、窒素分だけ有るから他と併用しなければいけない。

3、吸濕性の有る肥料だから良好注意し保管する事。

トーマス焼肥

1、特性：尿素は窒素、酸素、水素、炭素からなる有機化合物で形態は、尿素態で淡い桃色をおびた白色の細い針状結晶で臭くなく水に溶け易い。

2、肥料として不適だが、補肥として幼苗形成期に施すのは良い。

3、尿素は窒素含有量は五六、七%であるが、販賣されて居るのは四五%である。

4、欠点は吸濕性の有る事であるが、水溶液は化学的にも生理的にも中性である。

5、硫安は爆発性があるから火氣を近づけたり、取扱いには充分注意する事。

トーマス焼肥

1、特性：尿素は窒素、酸素、水素、炭素からなる有機化合物で形態は、尿素態で淡い